

成果

義援金 床下浸水にも

全国から寄せられた義援金の配分対象に、床下浸水も追加されました。1世帯15,000円です。罹災証明が必要です。

公費解体 公費撤去

半壊以上の認定を受けた被災家屋等の解体・撤去と宅地内等の土砂混じりがれきの撤去に公費が出ます。

自費で解体や撤去をした人にも出ます。条件があるので市へご相談ください。

申請は来年3月29日までです。

砂川改修5年で

砂川の改修と樹木伐採に、国が200億円の予算を付けることを決めました。これまで毎年要望してきたのに対しわずかの予算しか付けず、100年掛かると言われていましたが、5年でできることとなります。

旭川浚渫に予算

旭川中流域の浸水原因となった河川の堆積土砂浚渫と中洲の樹木伐採の予算がやっと付きます。新庄川出口に1億円、破堤した御津国ヶ原に20億円で、1年程度で行います。

今保に排水ポンプ前倒し

浸水被害の出た笹ヶ瀬川西岸の今保、平野、久米、白石、花尻に排水区を設定し、排水ポンプ場を整備します。予算を増やして計画を2年前倒しし、2022年度完成をめざします。



市長に被災者支援策を申し入れる市議ら=7月25日

岡山市の課題

日本共産党 市議団 は提案します！

生活再建のために

- 床上浸水なら半壊以上に認定を
- 被災者生活再建支援制度の対象を半壊まで拡大
- 住宅応急修理の増額や対象の大幅拡大、申請の簡素化

災害に強いまちのために

- 堤防のかさ上げや川の浚渫などの河川整備
- 雨水排水ポンプの増設などの浸水対策
- 災害弱者の避難計画づくりの具体化



政府交渉(第1次)=7月13日

どこが避難所？

7月6日の夜、市内ほぼ全域に「避難指示(緊急)」が発令されましたが、近くの小学校や公民館、県立高校などが開いていなかった事例がありました。避難所のあり方に大きな課題がいくつもありました。

市長は、避難所や避難方法が市民にとって分かりにくかったと認め、様々な角度から検証して見直していくと表明しました。一方で、避難所については今後も、全部を開けることはしないとしています。地域からは、避難所の開設や運営を任せてほしいとの声が上がっています。

被害認定に格差

岡山市が、堤防の決壊や越流(外水)と、用水が溢れた(内水)で判定方法を変えたため、被害認定に大きな差が生じています。「外水」の場合は、1m以下の床上浸水は全て「半壊」になりますが、「内水」の場合は、細かい評価表があり床上1・3mの浸水でも「半壊に至らない」家が出ています。その結果、被害の程度が同じでも受けられる支援に差が生じています。

さらに、御津や牧石など旭川の越流が確認された地域でも、「内水」として判定されていたことも判明しました。

弱者の避難は地域任せ

岡山市は、自力での避難が困難な高齢者や障害者を「避難行動要支援者」として名簿化しています。

しかし避難方法を具体化する個別支援計画づくりは地域任せで、市として状況を把握していないことが明らかになりました。市は計画づくりに責任を持たねばなりません。

編集後記



Editorial note

沖縄県知事選挙で玉城デニー氏が史上最高の得票を得て、安倍政権丸抱え候補を破りました。玉城知事は沖縄県民の願いをうけて名護市の米軍新基地建設にきっぱりノーをうたっています。

一方岡山市では、7月豪雨の被害認定の格差について、市長は国のルールにのっとって行うと言うだけです。国にモノを言えるのかで問われるのは、被災された方に寄り添う姿勢です。これが市の被災者対応にも反映しているのではないのでしょうか。

日程



Schedule

11月定例市議会 (11/30~12/18)

11/28(水)	常任委員会
30(金)	開会
12/ 5(水)	請願・陳情締切
6(木)~12(水)	個人質問
13(木)	常任委員会
18(火)	閉会

議案に対する各会派の態度



For or against

	結果	自民市議団	自民政隆会	公明	創政会	市民ネット	共産
市立幼稚園・保育園の廃止・民営化に関わる議案	○	○	○	○	○	○	×
東山斎場の利用料値上げ条例	○	○	○	○	○	○	×
富吉新斎場の追加工事予算	○	○	○	○	○	×	×

○=賛成・採択 ×=反対・不採択